

～夢 実現に向けて一つ一つの節目を大切に～

【進学について注意しておくこと】

本校の卒業生の進路状況をみていると、例年3割程度の生徒が進学を希望しています。進学先は県内・県外、大学、短大、専門学校と多様ですが、それぞれ卒業までにかかる費用を調査した結果は下記のようになっています。なお、大学については4年間の費用、専門学校については2年間の費用としています。

下記金額は、あくまでもおおよそのデータであり、上級学校によって異なる金額と思いますが、参考に見てみましょう。近年は物価の高騰により、令和3年度、4年度より費用が上がっているものと思います。各種奨学金や多子世帯については、授業料等の減免措置もあります。学校から案内がありますので、積極的に情報を活用しましょう。

最近、安易に進学を選択する生徒が増加しているように感じます。実際に入学後に授業についていけずに、留年せざるを得ない卒業生もいるようです。進学には大きな経済的負担が伴うため、保護者としっかり話をし、プランを立てておく必要がありますね。また学習する習慣が最も大切です。高校在学中から、その習慣を身に付けておきましょう。



進学先	自宅				自宅外			
	国公立大	私立大 文系	私立大 理系	専門 学校	国公立大	私立大 文系	私立大 理系	専門 学校
入学前	672,000	818,000	888,000	502,000	1,058,000	1,205,000	1,275,000	889,000
1年目学費	657,200	614,800	1,305,700	1,191,700	582,400	559,000	1,338,100	1,101,600
1年目生活費	425,400	426,100		387,400	1,099,400	1,065,700		1,070,000
1年目合計	1,754,600	1,858,900	2,619,800	2,081,100	2,739,800	2,829,700	3,678,800	3,060,600
卒業までの費用	5,002,400	4,981,600	7,815,200	3,660,200	7,785,200	7,703,800	10,890,200	5,232,200

※日本政策金融公庫(R3年度)、日本学生支援機構(R4年度)のデータを参考にしています。

【大卒と高卒の違い～県外の企業訪問へ参加して～】

先日、三菱重工業名古屋航空宇宙・誘導推進システム製作所が実施した工場見学会へ参加してきました。三菱重工というと、日本を代表する企業の一つで H3ロケットはもちろん、原子力発電所、潜水艦、火力発電所タービン、大型フェリー「さんふらわあ」など開発、製造、整備等を行っている企業です。

今回のマイルストーンでお知らせしたいのが、「大卒と高卒の違い」です。この三菱重工の工場見学を通して感じたことを簡単にまとめます。まず大卒ですが、いわゆるホワイトカラーになります。業務内容は設計・開発が中心。防衛産業や日本の基幹産業の要を扱うので、高度の知識とスキルが必要となります。一方高卒はブルーカラーと言われます。仕事は技能職。現場での仕事を中心です。では大卒が上で、高卒が下かという、全くそういうものはなく、お互いに協力しながら仕事をするということは変わりません。三菱重工でいうと、大卒が設計したものを、現場で高卒の技能職が製造等を行う。製造の過程で不具合があると、設計に相談して設計を見直してもらう。それらが両輪となって業務を推進することになります。高卒はその両輪の片方を担う大切な存在なのです。

ですから、高卒での就職を目指している人には、高卒の早い段階から「優れた技能を身に付けて」企業に欠かせない一員として現場で活躍して欲しいと思っています。

近年では給料や福利厚生も充実しており、高卒でも20代で年収600万の企業も増えてきています。昔は高卒=3K(きつい、汚い、危険)と言われる時代もありました。それが今では新3K(=給与、休暇、希望)へと変化していると言います。

もちろん大卒も大きな役割があり、企業にとって欠かせない存在ですから、大学進学を目指すのも良いでしょう。また高卒の技能業務は AI に置き換わることの無い仕事が多く。高卒のメリットを最大限活かした将来設計を考えてみるのも良いでしょう。

自分自身の人生について、しっかり向き合ってお考えください。

